

2012年10月29日  
公益財団法人菊水鉾保存会  
株式会社川島織物セルコン

菊水鉾保存会 鉾再建 60周年記念事業  
祇園祭 菊水鉾 前懸「<sup>ひい</sup>杼入れ式」を実施

公益財団法人菊水鉾保存会(京都市中京区 理事長:猪田浩市)と、株式会社川島織物セルコン(京都市左京区 社長:中西正夫)は、祇園祭・菊水鉾の前懸の無事完成を祈念し、関係者が織り始めの最初の緯(よこ)糸を経(たて)糸に通す「杼入れ式」を行いました。

菊水鉾は1952年の再興から今年で60年目を迎えます。菊水鉾保存会は、鉾再建60周年記念事業として、退色が進み、替え幕も所持していないため、前懸・後懸・胴懸左右2面 計4面の懸装品を綴織で新調することを決めました。

これらの新調は1年に1点ずつ完成させる4年事業として計画されており、初年度となる本年は、10月末から前懸の製織にとりかかります。そこで10月29日に、前懸の無事な完成を祈念して「杼入れ式」を行い、菊水鉾保存会 猪田理事長、祇園祭山鉾連合会 吉田理事長、ほか関係者が緯糸を通しました。

尚、この前懸は、3月に製織を完了し、来年7月にお披露目の予定です。



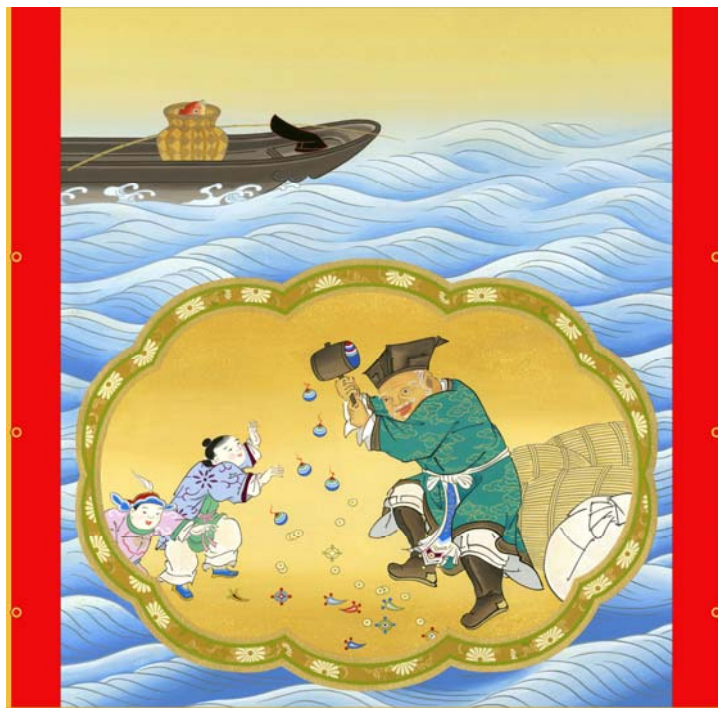
杼入れの様子 手前より 祇園祭山鉾連合会 吉田理事長、菊水鉾保存会 猪田理事長

## 菊水鉾 前懸 杼入れ式

日 時 : 2012年10月29日(月) 11:00~11:30  
場 所 : 株式会社川島織物セルコン 本社・市原事業所 (京都市左京区静海市原町 265)  
出 席 者 : 公益財団法人菊水鉾保存会 猪田浩市理事長  
公益財団法人祇園祭山鉾連合会 吉田孝次郎理事長  
株式会社川島織物セルコン 取締役執行役員 奥野信三 ほか

## 綴織前懸「大黒天図」概要

寸 法 : 幅 2,635mm 高さ 2,570mm  
材 質 : 絹、綿  
図 柄 : 菊水鉾町は古くは「夷三郎町」と言い、恵比寿神をご神体とする「ゑびす山」が巡行に参加していたことから、恵比寿にちなみ七福神を採用し、前懸には大黒天を配した。狩野岑信作「七福神図巻」(板橋区立美術館蔵)を参照。



## 菊水鉾 再建 60 周年記念事業

事業主 : 公益財団法人菊水鉾保存会  
助 成 : 京都府、京都市、公益財団法人祇園祭山鉾連合会  
製 作 : 株式会社川島織物セルコン

### このリリースに関するお問い合わせ

株式会社川島織物セルコン 企画・管理部 経営企画・広報グループ

TEL:075-741-4316

当リリースは、京都経済記者クラブ、宗教記者会に配布しています。